

科目名	情報サービス論
科目名(英訳)	Information Services
科目ナンバー	HX213C01
担当者 (非)は非常勤講師	柊 和佑
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	春期毎週
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 柊 和佑:水1-2
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	人文学部の学部共通科目群に属する科目である。また、司書課程の「図書館に関する科目」のうちの「図書館サービスに関する科目」に属する科目でもあるため、司書資格を取得するために必要な科目である。
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 ICT活用力

授業の主旨 (概要)	司書資格課程の科目として、図書館における情報サービスの意義を明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等のサービス方法、参考図書・データベース等の情報源、図書館利用教育、発信型情報サービス等の新しいサービスについて解説する。また、現代の情報提供サービスを行う企業と図書館を比べ、その類似点への理解を進める。最終的にはサービスに応じたキュレーション能力の獲得を目指す。 なお、講義は『情報社会と図書館の情報サービス』『レファレンスサービスの理論と実際』『キュレーションの理論と方法』の3つのカテゴリに分かれている。	
具体的 達成目標	情報社会の現在と図書館の情報サービス、図書館における情報サービスの意義と種類、レファレンスサービスの理論、レファレンスサービスの実際、情報検索サービスの理論と方法、各種情報源の特質と利用法、各種情報源の解説と評価、各種情報源の組織化、発信型情報サービスの意義と方法、図書館利用教育などについて理解し、キュレーションに関する知識を身につけることを目標とする。 達成目標の確認のために最終回にテストを行い、厳密に成績をつける。 最終的には以下の能力の獲得を目指す。 ・実際に本学図書館の資料を使って、レファレンスがができる ・テーマ棚を作成・発表等の企画を行う際の注意点及びノウハウを理解できる ・今後図書館や情報発信サービス企業が目指すべきサービスの形を模索し、実践計画を立てることができる	
授業計画	1	【内容】 情報社会と図書館の情報サービス1 ガイダンス:テストの形式、教科書、出席(座席指定)について指示を行う。 なお、資格課程用の授業であるため、不適切な行為を発見した場合は受講資格を失う。 【授業外学習】 授業の復習、ノートの整理
	2	【内容】 情報社会と図書館の情報サービス2 図書館が用意するサービスの種類 【授業外学習】 授業の復習、ノートの整理
	3	【内容】 情報社会と図書館の情報サービス3 図書館利用教育の意義 【授業外学習】 授業の復習、ノートの整理
	4	【内容】 レファレンスサービスの理論と実際1 レファレンスサービスの専門性 【授業外学習】 課題1の内容を示す。
	5	【内容】 レファレンスサービスの理論と実際2 時代とレファレンスサービス 【授業外学習】 課題1、授業の復習、ノートの整理
	6	【内容】 レファレンスサービスの理論と実際3 地域とレファレンスサービス 【授業外学習】 課題1、授業の復習、ノートの整理

1 情報サービス論

	7	【内容】	レファレンスサービスの理論と実際4 新しいレファレンスサービスと発信型情報サービス			
		【授業外学習】	課題1、授業の復習、ノートの整理			
	8	【内容】	レファレンスサービスの理論と実際5 年齢とレファレンスサービス			
		【授業外学習】	課題1、授業の復習、ノートの整理			
	9	【内容】	キュレーションの理論と方法1 紙媒体情報資源(古典)			
		【授業外学習】	課題1の提出期限。 課題2の内容を示す。本学図書館および学部資料室を使った課題・演習を授業外で行う。			
	10	【内容】	キュレーションの理論と方法2 紙媒体情報資源(近代)			
		【授業外学習】	本学図書館および学部資料室を使った課題・演習を授業外で行う。			
	11	【内容】	情報検索サービスの理論と方法2 紙媒体情報資源(現代)			
		【授業外学習】	本学図書館を使った課題・演習を授業外で行う。			
	12	【内容】	キュレーションの理論と方法3 インターネット情報資源			
		【授業外学習】	インターネットを使った課題・演習を授業外で行う。			
	13	【内容】	キュレーションの理論と方法4 目的に応じた情報資源(図書館資料・法律・判例・特許)			
		【授業外学習】	本学図書館およびインターネットを使った課題・演習を授業外で行う。			
	14	【内容】	キュレーションの理論と方法5 各情報資源の評価			
		【授業外学習】	課題2、授業の復習、ノートの整理			
15	【内容】	キュレーションの理論と方法6 ナレッジデータベースの可能性--レファレンス協同データベースより				
	【授業外学習】	課題2の提出期限				
16	【内容】	達成目標確認試験(受験しなかった場合は単位は出ません)				
	【授業外学習】					
授業方法	座学・講義形式 課題等については、基本的にはコメント等をつけて返却する予定であるが、多くの学生に共通するような一般的な注意事項等のコメントが多い場合は、個別に対応するのではなく、授業中に全員に対して一括してフィードバックする。					
成績の評価方法	出席・カテゴリ毎のレポートの提出を行うことで達成目標確認試験を受けることができる。 16回目に達成目標確認試験を行い、成績を決定する。					
成績の評価基準	図書館サービスについてより深い理解・実践計画立案ができているかを評価する。 達成目標確認試験の90%以上の達成でS評価、80%以上でA評価、70%以上でB評価、60%以上でC評価					
教科書	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『図書館情報学基礎資料』	今 まど子, 小山 憲司	樹村房	1100	978-4883673650
		備考: ISBNは第四版のものです。毎年3月ごろに新版が出ますので、買う場合は最新の版を購入してください。すでに他の授業で購入した場合は、買い直す必要は基本的にありません。				
参考文献						